

石橋中学校区

【目指す子ども像】

地域とつながり社会に貢献できる子ども

【実践研究課題】

教育活動全体を通じて、居がいのある学級・学校づくりを推進し、児童生徒の自己肯定感を高め、豊かな情操と道徳性を備えた社会に進んでよい行いができる子どもの育成

各部会の取組

<学習指導部会>

【児童生徒の実態】

- ・小学校…明るく素直な児童が多い。学習に対する主体性や論理的に考えることなどに課題がある。
- ・中学校…礼儀正しく素朴な生徒が多い。自己肯定感が低く、話し合い活動や自分の考えを表現すること、論理的に深く思考することなどに課題を抱えている。

【部会のねらい】

児童生徒が主体的に考え、学び合うことができる。

	視点	<A> 教育課程の 工夫改善	 教育活動の 連続性の確保	<C> 教職員間の 連続・協働	<D> 家庭・地域との 連携・協力
取組					
成果					
課題					

<道徳推進部会>

【児童生徒の実態】

- ・素直で穏やかな児童生徒である。
- ・道徳の授業では、友達の意見を聞いて、受け入れている様子が見られる。また、自分の意見を言うことにも抵抗がなくなってきている。

【部会のねらい】

- ・地域への愛着をもち、社会に貢献できる。
- ・自己開示をしながら自分を見つめ、考えを表現（話す・書く）することができる。

	視点	<A> 教育課程の 工夫改善	 教育活動の 連続性の確保	<C> 教職員間の 連続・協働	<D> 家庭・地域との 連携・協力
取組					
成果					
課題					

<児童生徒指導部会>

【児童生徒の実態】

- ・自発的に挨拶できる児童生徒の育成をめざし継続して取り組んできたが、臨時休業により人と接する機会が減り、登校した際の挨拶の声も小さくなっている。
- ・不登校傾向にある児童生徒が増加傾向にある。

【部会のねらい】

時と場に応じて、自発的にあいさつできる。

	視点	<A> 教育課程の 工夫改善	 教育活動の 連続性の確保	<C> 教職員間の 連続・協働	<D> 家庭・地域との 連携・協力
取組					
成果					
課題					

<特別支援・教育相談部会>

【児童生徒の実態】

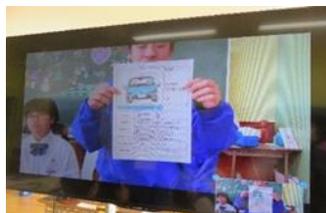
- ・学校生活、集団生活に適應して生活できている児童生徒が多い。
- ・不登校、不登校気味の児童生徒や特別な支援を要する児童生徒が年々増加している。

【部会のねらい】

- ・自分の特性を知り、よさを伸ばそうと進んで行動することができる。

	視点	<A> 教育課程の 工夫改善	 教育活動の 連続性の確保	<C> 教職員間の 連続・協働	<D> 家庭・地域との 連携・協力
取組					
成果					
課題					

リモート交流の様子



<特別活動部会>

【児童生徒の実態】

- ・周囲とうまく関われない児童生徒が多い。
- ・心に悩みを抱えている生徒が中学校にたくさんいる。

【部会のねらい】

- ・児童生徒自らの手でよりよい学級づくりを目指していく中で、児童生徒の思いやりの心や自分の思いを発信し、コミュニケーションを図ることができるようにする。（交流活動を有効的に用いる）

	視点	<A> 教育課程の 工夫改善	 教育活動の 連続性の確保	<C> 教職員間の 連続・協働	<D> 家庭・地域との 連携・協力
取組					
成果					
課題					

<体力増進部会>

【児童生徒の実態】

- ・新体力テストの結果において全体的に全国平均を下回る傾向にある。
- ・運動する・しない児童生徒の二極化が顕著である。
（運動しない児童生徒は、運動習慣が身に付いていなかったり、運動に苦手意識をもっていたりする場合が多い）

【部会のねらい】

- ・児童生徒が「運動が楽しい」「運動したい」という関心意欲をもつことができる。
- ・運動に親しむ習慣を身に付ける。（外で遊びたくなるような工夫・教科体育での運動量の確保・業間運動や遊具の工夫）

	視点	<A> 教育課程の 工夫改善	 教育活動の 連続性の確保	<C> 教職員間の 連続・協働	<D> 家庭・地域との 連携・協力
取組					
成果					
課題					

<健康増進・食育部会>

【児童生徒の実態】

- ・ゲーム等のメディア機器を長時間使用することで、生活習慣が乱れる傾向がある。
- ・ゲーム依存による不登校児童生徒もいる。
- ・市の課題である朝食摂取状況について、「毎日食べる」割合は小学校86.8%、中学校83.5%であり、前年度より改善傾向にある。(令和元年10月調査)

【部会のねらい】

- ・朝食の摂取率向上及び内容の改善に向けた取組やメディア利用をコントロールすることにより生活習慣を見直し、基本的な生活習慣を確立できる。

視点	<A> 教育課程の工夫改善	 教育活動の連続性の確保	<C> 教職員間の連続・協働	<D> 家庭・地域との連携・協力
取組	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校の定期テスト期間に合わせてメディアコントロールウィークを実施する。 ・メディアに関するアンケートを実施し、児童生徒の実態把握を行う。 ・小・中学校全校(小学4年生または5年生、中学1年生を想定)で、学級活動における朝食指導を実施する。 ・給食週間に、小・中学校全校で「朝食の大切さ」についての食育指導を行う。 			
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・メディアコントロールウィークを行ったことで、家庭でのメディア使用のルールの見直しが図られ、家庭学習の時間や家族団らの時間の一助となった。 ・メディアに関するアンケートは、各校の裁量で実施し、児童生徒の実態把握・実態に応じた指導に生かせるようにした。 ・小・中学校全校(小学4年生または5年生、中学1年生)で、学級活動における朝食指導を、学級担任・栄養教諭・学校栄養職員が連携し実施した。 ・朝食に対する意識が高まり、朝食アンケートにおいて「朝食を毎日食べる」「主食とおかずを食べる」と答えた児童生徒の割合が中学校区全体で増えた。 ・小中一貫健康増進・食育だより「いしばし元気っ子」を発行し、家庭への啓発ができた。 			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・メディアアンケートの用紙を活用し各学校ごとの実態把握ができた。今後は、中学校区としての傾向を把握し、指導に活かしていきたい。 ・小学校4年生、中学校1年生で行っている学級活動での朝食指導を、他学年の指導においても関連付けが可能な場面を検討する。 			

石橋中学校区 健康増進・食育だより

いしばし元気っ子

令和3年 12月発行
石橋中学校区小中一貫教育
健康増進・食育部会

今年度は、石橋中学校区が「小中一貫教育の健康増進部会と食育部会が1つの部会となり、新たに健康増進・食育部会として活動しました。メディアと食育の観点から基本的生活習慣の定着について考え、様々な取組を行いました。この機会に、ぜひご家庭でもメディア機器の使い方や、習字などについて話し合ってみてください。

メディアコントロールウィークでは自分の生活を振り返り、自分にあっためあてを考え、行動することができていたでしょうか?これからタブレット等のメディア機器を使って学習をすることが当たり前になってきます。メディア機器の使いすぎは、視力低下等の健康問題もあります。若くは資料館から出されている授業を参考にそれぞれのご家庭で対策を作ってください。

タブレットを使うときの5つのやくそく

- タブレットを使うときは姿勢よくしよう。
- 30分に1回はタブレットから目をはずそう。
- ねる前はタブレットを使わないようにしよう。
- 自分の目を大切にしよう。
- ルールを守って使おう。

メディアの使い方を家族で考えよう!!

【家族タイムタブレット】

保護者よりで話し合ってもいい人は、学校に持ってきてください。

ち さ ん () さん家の三か条

1. _____

2. _____

3. _____

～石橋中学校区 かんたん朝食レシピ紹介～

各校で集まったレシピの中から、かんたんに作れるものを紹介します。

★石橋小学校★
料理名 パリパリチーズ焼きおにぎり
材料名 A(ごはん、しらす、餅フレーク、塩梅、醤油、ごま)、とろけるチーズ、大葉
作り方 ①Aを全部混ぜて、おにぎりを作る。②フライパンにチーズを置き、弱火で焼く。③グツグツしたら、おにぎりをのせて、両面焼けて自分たちで焼く。大葉をまいて、できあがり。

★吉山小学校★
料理名 かんたんごまそうとうスープ
材料名 カットやさい、かまぼこ、納豆、みそ、ねぎ、とうもろこし
作り方 ①だし汁でカットやさいを煮る。②うすく切った、かまぼこを入れる。③ねぎのみじん切り、みそを加える。④カップに入れ、ごまをふりかけたら完成です!

★石橋北小学校★
料理名 とまどリゾット
材料名 ごはん、トマトソース、コンソメ、とろけるチーズ、しらす、パルメザン、パプリカ
作り方 ①カップにごはんを入れる。②トマトソースとコンソメを入れて混ぜる。③お好みの具材を入れて、レンジで1分。④最後に、パプリカをふってできあがり。

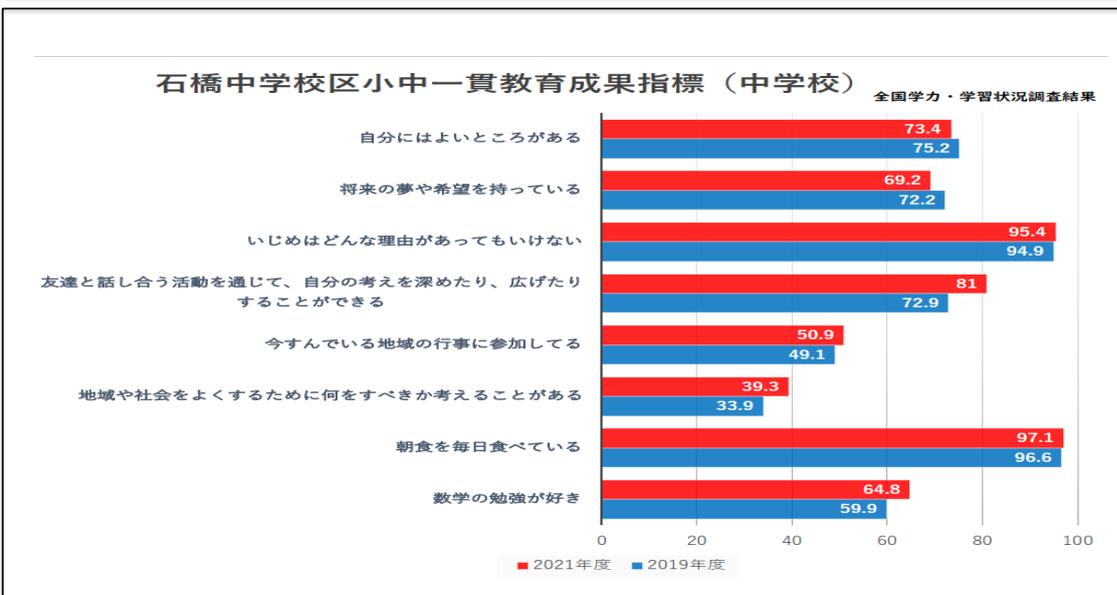
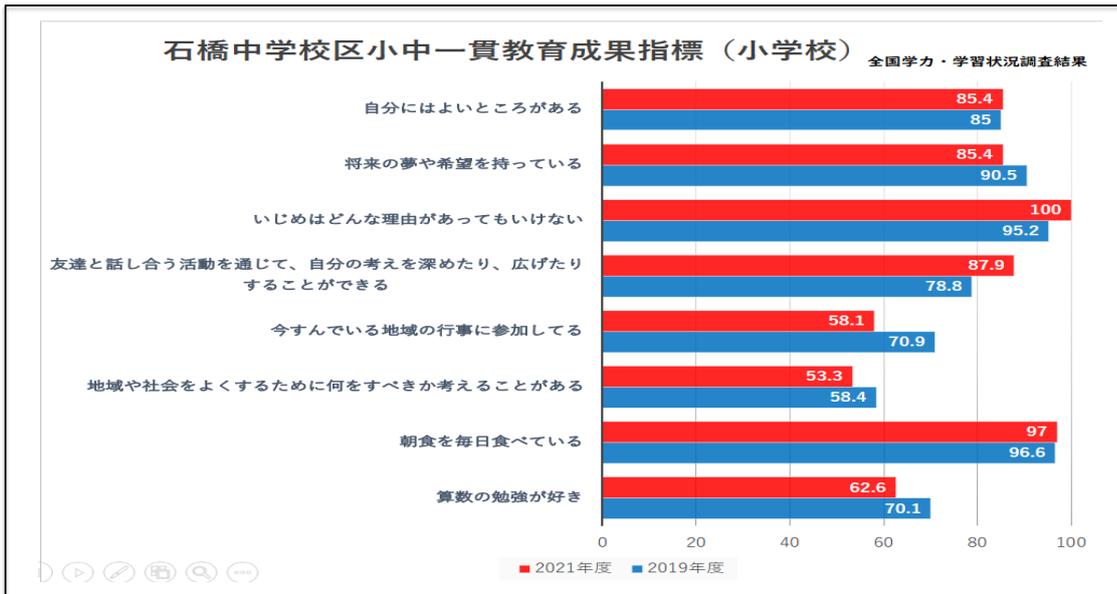
★龍谷小学校★
料理名 ぬり手し天婦羅のおにぎり
材料名 ぬり手し天婦羅、ごはん
作り方 ①ぬり手し天婦羅とごはんをよく混ぜる。②ラップにつつまて、形を整えて完成!

★石橋中学校★
料理名 おこのみごはん
材料名 ごはん、たまご、さくらえび、おがき、チーズ、ソース、マヨネーズ
作り方 ①フライパンに、たまご、さくらえび、おがき、チーズを入れ、その上にごはんをのせて火をつける。②へらでおしつけうすく焼いたら両面を焼き、お皿に移す。ソースとマヨネーズをかけてできあがり。

おいしいごはんを、朝から元気いっぱい!!

*おぼろめ、前歯のあるときに歯で噛みつぶす! *はじめる、おうちのひとと一緒に作ってみたいですね。

【成果と課題】



成果

- 成果指標における複数の項目の伸長
 - ・各部会の取組が、有効であった。
 - ・到達目標を意識した取組であった。
- 「いじめの項目」100%（小学校）
 - ・一人一人の行動につながるよう取組の継続と工夫を図る。
- 「友達と話し合う活動」のよさを感じる児童生徒の増加
 - ・居がいのある学級・学校づくりの推進が図れた。

課題

- 道徳教育の充実
 - ・地域への愛着と誇りをもち、心豊かな児童生徒の育成
- キャリア教育
 - ・自分のよさへの気づきや将来の目標を持つことにつながる取組の強化
- 地域や社会とのつながり
 - ・地域行事の中止や延期（コロナ禍の影響）
 - ・ポストコロナを意識した取組の工夫
 - ・学校運営協議会等を生かした地域への発信と連携